



審査結果報告書

平成28年 2月 2日

主査 氏名 岩瀬 優美 

副査 氏名 堀 明純 

副査 氏名 生地 新 

副査 氏名 田中 浩和 

1. 申請者氏名 : DM12018 中村 佐紀

2. 論文テーマ :
Effect of management training in organizational justice: a randomized controlled trial

(組織公正性の向上を目的とした管理職研修の効果：無作為化比較試験)

3. 論文審査結果 :

本研究では、民間企業の管理職を対象に、組織公正性に焦点を当てた単純かつ短時間の集団研修を実施し、その効果について検討した無作為化比較試験の研究である。組織公正性に関する基本的理解・職場の現状把握、組織公正性の各要素を高めるための講義、グループディスカッション、およびコミュニケーションに関するロールプレイなどの集団研修を90分間実施し、その研修前と研修3か月後に測定した組織公正性に関する自記式質問票からその効果を評価している。その結果、対人関係公正性がベースラインで低い対象者において、介入群はコントロール群と比較して有意に対人関係公正性が向上することが示されており、非常に意義のある研究である。

本研究の特徴は、組織公正性に焦点を当てた介入研究であること、また海外でもほとんど実施されていない無作為化比較試験であることから、本研究は評価に値すると思われる。今後、組織公正性を向上させることにより、労働者の健康やウェルビーイング、さらには組織の生産性を向上させるなど、今後の研究の発展が期待される。

審査会では、介入の評価方法、介入内容の工夫点、および研修に参加した管理職の自己評価などについて、活発に議論が行われた。また、これらについて適切に回答していた。以上より、組織公正性の向上を目的とした管理職研修の効果について検討した本研究は、博士課程の学位論文としてふさわしいと考えます。